

胎内市小教研の研究活動報告

会 長 桐生 和文
副会長 小島 和浩
評議員 桐生 和文

1 研究活動の方針

胎内市教育研究会(会員は市内小中学校全教職員)を組織母体とし、胎内市教育の振興と充実・発展を図る目的で研究活動を行う。

- (1) 胎内市の教育課題に向けた調査・研究を実施し、学力の向上等を目指して研究体制や運営を工夫して効果的な研究推進に努める。
- (2) 会員相互が緊密な連携・協力のもとに、研究実践を通して教育活動の推進に努めるとともに、会員の専門性や指導力向上を図る。

2 研究活動の実際

(1) 研究活動の組織について

各教科・総合的な学習の時間等の10部会、特別支援教育等の4部会、計14部会を組織し、研究活動を行う。

学力向上等の四つの推進委員会を設け、市の教育課題解決に取り組んでいる。

(2) 各組織の活動について

部会の活動は年間3回とし、指導力向上のため研修計画に基づき、授業研究、調査・体験活動、教材作成等を行う。

推進委員会では、市の教育課題解決をめざし、NRT学力検査の分析、指導方法の改善、市共通漢字テストの作成及び実施、外国語活動研修会、体育実技研修会等を行い、授業改善を図る。

(3) 教育講演会について

(株)ハードオフコーポレーション代表取締役会長 山本善政 様を講師に、「まちづくりは人づくり」という演題で、会員及び市民対象に講演会を実施した。

3 市小教研が関係した研究会

平成20・21・22年度 文部科学省指定「学力向上実践研究推進事業」
授業研究会 平成23年1月27日 中条小学校